

発生装置  
オゾン

# 風除スぺース有効活用

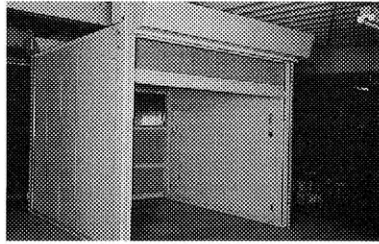
作業後  
滅菌室に  
小松電機が開発

【松江】小松電機産業（島根県八束郡八雲村東岩坂180、小松昭夫社長、0852・54・1166）は、オゾン発生装置を備えたシートシャッター「クリーンゲート門番II写真」を開発した。工場出入り口の

風除スペースを作業後に滅菌室として有効利用できるのがポイント。六月からテスト販売を開始する。商品化は四タイプで、価格は二百五十万―三百五十万円。同ゲートは作業時には食

口として風除室、通路に使用する。通路を使用しない夜間はオゾン滅菌室にして台車、食器、器具などを滅菌処理する仕組み。O157対策に取り組み給食センターや食品工場向けに販路を開拓する。初年度の販売

目標は三百台。  
開閉装置はコンピュータ



で制御し、上昇速度が毎秒一・四メートル、下降速度が同〇・七メートル。人の動きをセンサーで感知して作動、外扉と内扉が交互に動く風除機能を持たせた。滅菌時にはゲートを密閉してオゾン浴を行う。滅菌には十時間以上の滅菌処理が有効とされ、島根県立工業技術センターに依頼した細菌検査では肉類の殺菌率が九〇％だった。